

平成25年度第1回東郷湖活性化プロジェクト推進会議 会議録

日 時 平成25年6月28日(金) 午前10時～11時18分
場 所 湯梨浜町役場 2階第1・2会議室

1. 開 会

(仙賀副町長)

まだ町長が見えていませんけれども、今日は海外メディアの取材が入っており、長引くということですので、時間になりましたので平成25年度第1回東郷湖活性化プロジェクト推進会議を開催したいと思います。開会にあたりまして、山田会長からあいさつをお願いしたいと思います。

2. 会長あいさつ

(山田会長)

おはようございます。推進会議にご出席いただきありがとうございます。議題はお手元にありますように、平成24年度の事業を報告して、平成25年度どうしていこうかということが大きなものになりますけれども、平成24年度で大きな事業が三つ終わったということで、一つは東郷湖の覆砂事業が一応一段落したということ。それから、観光ルート of 整備、藤津公園の沈下の整備が終わったということです。新たに平成25年度、東郷湖周辺の浸水への対応が立ち上がるということになっています。

ところで6月15日、16日に未来ウオーキングという大きなウオーキング大会があったのですが、その前日に日本のマーチングリーグの総会がありました。日本でウオーキング大会は4,000以上たくさんあるのですが、そのうちでマーチングリーグに加盟しているのは18だけで、日本で代表的なウオーキング大会というのはマーチングリーグに加盟していて、その代表の方が全員集まって水明荘で総会をいたしました。その後、ウオーキングカフェ ippo の懇親会で、代表の方々が異口同音に東郷湖周辺の環境やウオーキングコースとしてのすばらしさに感嘆されていました。改めて、我々はそういう所に住んでいるのだなあと思いました。そのためにもこの東郷湖をもっともっと良くして、周辺も良くしていきたいなあと思います。忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(仙賀副町長)

ありがとうございます。3番の町長あいさつは、町長が到着してからにしたいと思います。そうしますと、平成25年度になりまして、新たに2名の方が委員になられております。それぞれ自己紹介をお願いしたいと思います。最初に鳥取県中部総合事務所長の中山孝一さん、次に東郷湖漁業協同組合代表の尾崎順一さんをお願いいたします。

(※順次自己紹介)

(仙賀副町長)

ありがとうございます。そうしますと4番の協議事項につきましては、会長に進行をお願いしたいと思います。

4. 協議事項について

(1) 平成24年度事業実績報告について

◆個別事業の実績報告

(山田会長)

早速協議事項に入りますが、一応11時半を目途にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。では、平成24年度の事業実績報告についてということで、資料に基づきながら担当課長さんから報告をお願いします。NO. 1からお願いします。

(前田町民課長)

はい。町民課でございます。所管しております事業といたしましては、水草肥料化、東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進の二つでございます。1ページでございます。水草の肥料化につきましては、今年3月の会議でも報告いたしましたが、平成24年度につきましては水草がほとんどなかったということで、平成23年度に引き続いて中止をしたということでございます。

続きまして2ページでございます。東郷池を守るアダプトプログラム制度の推進ということで、平成24年度については参加団体を5団体増の30団体を目標に進めてまいりました。結果といたしましては4団体増ということで、目標の達成には至らなかった訳でございますが、29団体になったということでございます。事業の状況でございますが、活動回数が前年度対比24回増の77回、参加人数といたしましては同じく21人増の857人ということで、だんだんと東郷池をみんなで守っていくという機運が盛り上がってきたのかなと感じておるところでございます。以上です。

(山田会長)

はい。一通りご報告いただいてからコメントいただきたいと思います。NO. 3をお願いします。

(鳥取県中部総合事務所生活環境局)

鳥取県中部総合事務所生活環境局の木山と申します。3番目の水質浄化覆砂事業及び効果検証について、昨年度終了しましたので結果をお時間をいただいて説明させていただきたいと思ひます。別紙のカラーの資料を見ただけですでしょうか。タイトルが平成24年度東郷池覆砂効果検証調査委託結果報告(概要)となっております。まず2番目となっているところを見てください。背景と目的ですけれども、覆砂というものを平成21年度、平成22年度に、右側の地図になりますが松崎地先の東郷池の一番深い部分に、左側の断面図に載せていますが、3m~3.5mの部分に30cmの厚さでだいたい0.1㎥にわたって砂をかぶせています。めくっていただいて、上側3番のところですが、そもそも覆砂というものは何かといいますと、富栄養化した、ヘドロ化した泥の上に砂をかぶ

せて、ヘドロから出てくる、水質汚濁の原因となる栄養塩を削減したり、微生物を分解する際に発生する酸素を減らしたりするというのが目的となっています。4番目が覆砂の施工区になりますが、実は漁協さんでも毎年、H23施工区の部分にちょっとずつ砂を入れられております。今回は覆砂をしていない東郷池の真ん中あたりでも調査を行っております。調査結果ですが、めくっていただいて5番目、底質調査結果とありますが、湖底の泥の状況がどのようになったかということで、Nが窒素、Pがリン、CODが科学的酸素要求量といいまして、基本的に富栄養化の指標となりますけれども、いずれにおいても覆砂をしていないピンクの線に比べて、覆砂をした濃い緑と黄緑の線が両方とも効果が出ています。非常に底泥の状態はよくなっていることがわかります。次に窒素溶出速度結果ということで、栄養塩の代表的物質である窒素についての結果になります。先ほどの底質調査結果に比べて、非常にピンクと緑の線が絡み合っている状態となっております、端的に言いますと実施直後は若干効果がありましたが、その後は不安定になり効果がなくなってしまったということになります。この原因としては、潜ったダイバーによりまして、蓋をした砂の上に新たに泥が堆積してしまっている影響が強いのではないかとことです。めくっていただいて7番目、同じように栄養塩の代表的物質であるリンについてのグラフです。こちらは窒素に比べてややきれいなグラフとなっております、実際効果も覆砂以降、継続して栄養塩を抑えていると言えます。ただし、平成23年9月に深い部分で効果がなくなり、その原因を追究しますと、この時湖底が貧酸素化している状況でした。そういった場合は、覆砂をしても栄養塩を抑制する効果がなくなるのではないかとすることがわかりました。8番目では、再堆積の原因は何かということをおこなうような器具を使って調査いたしました。めくっていただいて9番目は、結果を端的にまとめたものになりますけれども、一般的に言われていることではありますが、1番目の内部生産、いわゆる湖内の植物プランクトンの死骸が積もったということです。去年のようにアオコが発生しますと、量が多くなります。2番目の巻き上げとありますが、施工した箇所というのは東郷池の一部ですので、周囲の覆砂をしていない部分から、湖内の流れや強風で波が起こった場合に巻き上がってかぶってしまうということです。3番目に流入河川に大きな河川がございますけれども、こういった所からも有機物質が流れ込んできます。これらが万遍なく、同じような割合で覆砂の上に積もったということがわかりました。続いて10番目、覆砂事業全体の評価につきましては、覆砂直後は栄養塩の溶出が抑制され、覆砂の効果があったと言えますが、継続して3年間調査を行った中では、その間覆砂の上に有機物を多く含む浮泥が再堆積してしまっており、窒素の溶出効果がなくなってしまう、リンの溶出抑制効果や酸素の消費抑制効果が不安定になってしまったということです。リンについては深い箇所では嫌気的条件、酸素がなくなってしまうと覆砂をしてもあまり効果がないだろうということがわかりました。まとめに書いてありますけれども、覆砂をして効果がなかった訳ではなくて、一定程度の改善効果があり、いまだ効果が持続している部分もあります。ただし、当初のシュミレーション、東郷活性化プロジェクトでもある東郷池の水質(COD)4.5mg/lを目指すというものに影響を与えるほどの大きな効果は得られなかったと言えま

す。11番目、今回の調査で大きな課題というものが二つありまして、まず貧酸素化の影響を大きく受ける深い場所ではリンの溶出がどうしても増加してしまうということと、内部生産、巻き上げのほか、河川から有機物が流入してしまっていて、再堆積が起こり、一定期間、数年で効果が減少してしまうということが課題であります。今後はこのようなことに対して、何かしらの対策をすることが必要であるということですが、12番として具体例を挙げていますけれども、湖内全体を覆砂すれば問題はありませんが、砂の量やコストといった面で実際には無理です。限られた砂の量でやるとすれば、2m～2.5mよりも浅い箇所の外側をエリアを拡大するような形で覆砂をしていけば、今回の課題のような影響は受けにくいだろうということですので、まだ具体的に覆砂をやるという訳ではありませんが、実際に漁協さんがやっておられますので、その際にはこういったことを方法としてやっていくということが必要ではないかという風にまとめています。以上です。

(山田会長)

はい。ご質問があるかとは思いますが、とりあえず全体を済ましてからお願いします。では、4番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

産業振興課の瀬戸といいます。よろしく申し上げます。内水面の環境保全ということで、ゴミの回収量を前年の一割減とするということを目標としてやらせていただきました。平成24年度の目標は19.6㎡ということでしたが、ゴミの回収量が24.5㎡ということで25%増ということになりました。発泡スチロールなど大型のゴミが多く見られたということがありまして、処分量が増加したと思われまます。わずかではあります、減少傾向にはあると思っております。以上でございます。

(山田会長)

はい。5番をお願いします。

(中本企画課長)

稚魚の放流調査でございます。環境浄化に向けた啓発と東郷湖活性化プロジェクト事業の取り組みを広く宣伝するというところで、この事業をやっております。3月に放流をいたしまして、プロジェクトの参加といたしましては役場関係、保育所等ということで達成度は75%となっております。進捗状況をホームページで公開しましたが、全町の取り組みとしてはもう少し欠けているというところです。以上です。

(山田会長)

6番目をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

池の産物料理メニュー化促進ということでございます。泊さくらまつりや食のみやこフェスティバルで東郷池のシジミを使用した「鬼しじみ焼きそば」を販売することによりまして、多くの方にPRできたのではないかなと思っております。メニュー化に向けて検討しているところでございます。ただし、シジミの不漁の影響もありまして、イベントでの販売に留まっているというのが現状でございます。シジミが採れないことには、今後のメ

ニュー化は困難だと思われれます。以上でございます。

(山田会長)

7 番目をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

続きましてカニバス事業でございます。1 2 月 1 5 日から 3 月 3 1 日まで実施しました。各方面にチラシを配布するなどして P R に努めたところでございます。松崎地区を中心としまして、東郷湖周を散策してもらうために関係者で検討会を開催しております。利用実績につきましては 5, 2 9 4 人ということで、昨年を上回っております。計画どおり実施できたということで、昨年より 1 割増という結果です。関西方面の集客対策として効果があったものと思われれます。以上でございます。

(山田会長)

8 番目をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

引き続きまして特産品販売促進活動でございます。9 月 6 日、7 日に東京新橋のアンテナショップにおきまして、二十世紀梨を販売し、町を P R したところでございます。アイスにつきましては、9 月末までに計 8 回の県内イベントに出展したほか、2 0 件近くのメディアに露出し、地元への周知を図りました。昨年開発しました「二十世紀梨まるごとパイ」についても梨シーズンに合わせて夢マートで販売させていただいております。店頭では毎日完売するなど好評を得ております。アイスについては P R を行い、周知に取り組みましたが、今後の展開や推進体制を構築するよう平成 2 5 年度の計画を協議しておるところでございます。以上でございます。

(山田会長)

9 番目をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

続きまして観光商品造成戦略活動ということでございます。滝床料理や東郷梨選果場見学ツアー、野花梅溪散策ツアー、倭文神社参拝プランと、四つの着地型観光プランといたしまして、取り組みました。着地型観光プランにつきましては計画どおり実施できたと思いますが、ガイド養成につきましては、機運醸成のための先進地視察を実施したに留まっております。参加者は 2 1 人でございました。実際の養成につきましては本年度取り組むこととしています。以上でございます。

(山田会長)

1 0 番目をお願いします。

(燕趙園 山口園長)

燕趙園～望湖楼発着とした東郷池遊覧を実施するというところでございます。実施の方針としては旅行会社を中心に遊覧船プランを提案ということで、実施状況はカニバスご利用の方にもこの遊覧船に乗っていただいているという状況でございます。昨年度につきましては、団体ツアー等の申し込みがあまりなかったということもございませし、燕趙園自体

は日中関係の悪化等により入園者が減少ということもございまして、目標には達しなかったところでございます。

引き続きまして11番、道の駅燕趙園についてでございます。地域の拠点施設として、利用促進に努めるということで、道の駅の機能「情報発信機能」・「休憩機能」・「地域の連携機能」を十分に発揮したということでございます。基本的にはイベント等を通じて利用促進を図るということで、進捗状況については記載させていただいております。結果といたしまして、若干道の駅効果の薄れが出てきていることと、同じく日中関係のことがございましたので、そこまでの利用促進という形にはなりませんでしたが、一応効果はあったのかなあという風に思っております。以上です。

(山田会長)

はい。12番お願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

ホワイトライアスロン in 湯梨浜でございます。書いてありますとおり、多数の方の参加をいただいております。ボランティア・スタッフにつきましても600名参加していただいております。内容的には、364名の選手と家族、それからボランティア・スタッフ、2,000名の観客の参加により、大変多くの方に湯梨浜町を訪れていただいて、東郷湖周辺の魅力を発信できたものと思われまます。また宿泊者数、ボランティア数につきましても、目標を達成できたものと思われまます。以上です。

(山田会長)

はい。13番お願いします。

(中本企画課長)

湯梨浜夏まつりでございます。地域活性化及び観光振興に向けた取組みを実施するということで、水郷祭、とまり夏まつりと2本やっております。目標といたしましては、ホームページのアクセス数3,000件以上ということでございます。達成度は98%ということでございました。平成24年度は2,937件ということで前年度を上回りましたが、目標には少し届かなかったということですが、アクセス数は年々増加しています。以上でございます。

(山田会長)

はい。14番お願いします。

(中本企画課長)

引き続き中華コスプレ・プロジェクトでございます。これにつきましても、温泉地を中心とした観光振興等幅広い波及効果を期待するということでやられているということでございます。年2回、5月19日に中華コスプレ日本大会、11月10日に中華コスプレアジア大会を実施されました。参加人数はそれぞれ194名と193名でございました。目標といたしましては参加者数を前年度以上と設定されておりまして、両大会とも目標を達成したということでございます。今後とも実施していくということでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。15番をお願いします。

(中本企画課長)

引き続き東郷湖ドラゴンカヌー大会でございます。東郷池の魅力向上、地域活性化、観光振興に向けた取り組みを実施するということで、実行委員会を組んでドラゴンカヌー大会を実施していただいているところでございます。平成24年度は8月26日に開催しております。76チームの参加でございました。県内66チーム、県外10チームでございます。事業の目標は、100チームの参加と設定しておりましたが、実質は76チームでございました。大会の日程が他のドラゴンカヌー大会と重なったということもありまして、例年参加していただいていたチームが参加できなかったということが要因だということで、平成25年度につきましては、日程を調整しながら実施することとしています。以上でございます。

(山田会長)

はい。16番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

水源域森林育成作業ということでございますが、竹林の整備1.5ha以上、森林間伐20ha以上の推進ということで目標を掲げました。結果といたしましては、竹林の整備は0.59ha、間伐につきましては実施できておりません。これは平成25年度に繰り越しということで、実施したいと思っております。事業費の負担や自主管理費負担でなかなか進んでいないのが現状であります。ここら辺を何とか解決しながら、いい方向に結び付けたいと考えております。以上です。

(山田会長)

はい。17番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

エコファーマーの推進についてということでございます。果樹農家のエコファーマー認証制度の策定ということで取り組みました。農薬の適正管理については指導を徹底的に行うことができた一方、より実効性を高めるために、今後は農業者自らがチェックする体制を構築していく必要があるものと思われまます。果樹農家に対してエコファーマー認証制度について啓発を実施いたしましたが、今後は普及に向けて具体的な取り組みが必要となると思っております。以上です。

(山田会長)

18番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

シジミの生息環境改善対策ということでございます。これも継続でございますが、覆砂実施区域の生息密度の向上に努めるということで実施させていただきました。覆砂事業につきましては、進捗状況に書かせていただいておりますとおり、100%実施させていただきました。しかし、原因不明の、夏場の環境悪化が要因と思われまます。稚貝が減少し

ており、困惑している状況でございます。平成25年度につきましては、稚貝確保のためにしっかりゴミ等を除去いたしまして、実施をしてみたいと思います。以上でございます。

(山田会長)

19番お願いします。

(岸田建設水道課長)

観光ルートの整備ということで、今滝へ大型バスでの乗り入れを可能とするため、町道今滝線の改良を平成25年3月に事業を完了いたしました。以上です。

続きまして、20番藤津公園の地盤沈下対策ということで、こちらにつきましても6月末をもってすべて完了いたしました。以上でございます。

(山田会長)

21番お願いします。

(岸田建設水道課長)

東郷湖周道路整備事業ということで、平成24年度の計画といたしましては、藤津から宮内までの測量調査設計のみということで、この分につきましては実施設計が終了いたしました。以上です。

(山田会長)

はい。22番お願いします。

(西原生涯学習・人権推進課長)

東郷荘絵図活用導入事業でございます。研修会は表にありますように、3回、6月と11月と3月に実施しております。また、解説ボランティアの養成に向けて、岡山県に研修に出向いております。また、歴史講座講演会ということで3月に実施することができました。ほぼ計画どおり事業を実施できたのではないかなと思いますが、参加していただいた方のさらなる意識の高揚を図るということ、それから歴史マップやウオーキングマップへの掲載、あるいは案内看板の見直し等が必要になるということを考えているところでございます。以上でございます。

(山田会長)

23番お願いします。

(中本企画課長)

ゆりはま塾でございます。町の歴史、伝統、自然等に関する講座で知識・技術等を習得し、次世代への継承を図るということと、ここには書いていませんけれども、観光ボランティア養成を図りたいということで塾を開いておるところでございます。実績といたしましては、自主的に塾生が学習会を7回、ガイド養成的なものを教育委員会と一緒に4回開催しておるところでございます。目標といたしましては、随時ホームページ等で公開していくということで、すべての学習会等の実施状況等を掲載させていただいたところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。24番お願いします。

(中本企画課長)

東郷湖・未来創造会議（天女のふる里づくり事業）ということでございます。東郷湖・未来創造会議で集約した事業を具現化させるために、新たな東郷湖のシンボルとして設定した天女によるまちづくりを推進するというところで実施しておるものでございます。実績といたしましては、天女シンポジウムを11月に開催いたしまして、着ぐるみを製作したところでございます。それから、ノベルティーの制作ということで、クリアファイル等を作成したところでございます。また、商工会が東郷湖周“げんきウオーキング”プロジェクト実行委員会を立ち上げられまして、ウオーキングコースの設定などを町と一緒にやっていただいたところでございます。このプロジェクト実行委員会につきましては、現在までの評価のところに書いていますけれども、特産品の開発ということで野花豊後を使った「げんき梅」の開発、梅酢を使ったレシピの開発、ウオーキングコースの策定、ガイドマップ（milimili）の作成、プロジェクト専用のホームページ、フェイスブックの開設ということで、平成24年度実施されたところでございます。平成25年度につきましては、後ほど説明させていただきたいと思っております。以上でございます。

(山田会長)

じゃあ25番をお願いします。

(蔵本健康推進課長)

はい。ウオーキングリゾートプロジェクトでございます。計画どおり公認指導員10名を養成いたしまして、ノルディックウオーキング教室を開催いたしました。町主催の教室以外にも、地域とか団体の要請によりますノルディックウオーキング教室も開催いたしました。目標に対する達成度を100%としておりますけれども、住民の皆さんにノルディックウオーキングが浸透しきれているかということと必ずしもそうではございませんので、平成25年度もさらに努力して参りたいと思っております。以上です。

(山田会長)

次は25-1ですか。

(中本企画課長)

ウオーキングリゾートプロジェクトです。先ほど健康推進課長が町の事業について説明しましたけれども、企画課といたしましては、その他協力していただいている団体につきましてはの記述をさせていただいております。県、あやめ池スポーツセンター、カフェippo、ウオーキング協会、龍鳳閣等のウオーキングに関する事業でございます。実績といたしましては、4月27日に「ケータイで健康づくりウオーキング」記念大会ということで県でやっていただいておりますし、5月27日は東郷池春の健康散策ウオーキングということであやめ池スポーツセンターに実施していただいております。大きな大会といたしましては、11月10日のSUN-IN未来100kmウオーキングをNPO未来さんが主催されましたし、引き続き11月11日に全日本ノルディック・ウオーキング全国大会in鳥取ということで、湯梨浜町で開催していただいたところでございます。だんだんとそ

それぞれの団体でウォーキングを実施していただき、広がってきているのかなあとおもうところがございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。最後ですか。

(中本企画課長)

はい。最後でございます。東郷湖活性化プロジェクト推進会議、この会議でございますが、年3回を計画し、この会議を第1回として開催させていただきました。引き続き行っていきたいと思っているところがございます。以上です。

(山田会長)

はい。一気にご説明いただきましたが、ご質問等がございましたら何なりとお願いいたします。

(川田委員)

燕趙園遊覧のことについて、日にちごとの受け入れ人数が書いてありますけれども、カニバスの利用者も使ってらっしゃるとのことですが、これにはカニバス利用者は入っていますかね。

(燕趙園 山口園長)

この中には入っていないです。

(川田委員)

だいたいわかりませんか。

(燕趙園 山口園長)

こちらでは集計はとっていないですので。旅館組合さんでしたらわかるとは思いますが、うちに発着するものではありませんので。

(山田会長)

よろしいですか。それでは平成25年度事業計画の後に、お時間をとりたいと思いますので、特に強調する点がありましたらご説明いただきたいと思います。全部いきたいと思います。また1番目からお願いします。

(2) 平成25年度事業計画について

◆個別事業の事業計画

(前田町民課長)

はい。町民課でございます。事業といたしましては、平成24度と同様です。水草の肥料化、刈り取り、アダプトプログラムの推進ということで計画しております。ただし、水草の肥料化につきましては、平成23年度、24年度と実際に繁茂しなかったと。平成25年度の東郷池の水質の状況を見ましても、平成24年度と比較して劇的に改善しているというようなことは、現在の状況では見受けられません。そういった中で、果たして水草の刈り取りができるのかという懸念はございますが、事業として引き続き実施をしていきたいというところがございます。

アダプトプログラムにつきましては、平成24年度に29団体に増えたところですが、本年度新たに3団体増やしたいということで32団体というところでございます。団体については町報等でも周知をさせていただいておりますし、個別に協力依頼ということで事業所等にお伺いさせていただいているところでございます。皆様方にもぜひご協力いただければという風に考えております。以上です。

(山田会長)

はい。3番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

内水面の環境保全でございます。昨年度に引き続き実施したいと思います。ゴミ回収量を前年の1割減を目標といたしまして、22㎡という目標を掲げて実施したいと思います。9月から12月までの期間ということで、実施したいという風に思います。以上です。

(山田会長)

はい。4番をお願いします。

(中本企画課長)

稚魚放流調査ということで、平成25年度もまた放流をしていきたいと思っておるところでございます。3月に放流するという計画を立てております。以上でございます。

(山田会長)

5番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

池の産物料理メニュー化促進でございます。これも引き続き実施していきたいと思えます。商工会のホームページで東郷池のシジミを活用した料理を広くPRし、ゆりはま市やゆりはま大漁まつりでシジミやコイを活用した料理を出品し、観光客・住民等への周知を図りたいと考えております。以上でございます。

(山田会長)

6番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

カニバス事業でございます。これも引き続き実施したいと思います。松崎地区の団体と連携させていただきまして、街あるき新聞、いわゆる「ぶらりマップ」を作成して配布しました。旅館のみならず施設や飲食店への波及効果を狙って行いたいと思っております。以上でございます。

(山田会長)

7番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

特産品販売促進活動でございます。これも引き続き実施したいと思います。町の特産品、二十世紀梨について、東京新橋のアンテナショップにイベント出展するなど、町の魅力を発信したいと思います。これは年1回以上でございます。アイスクリームにつきましては、地元食材を使ったものを利用して、新しい食の魅力として発信していきたいと思えます。

これは年3回以上を計画させていただいております。以上でございます。

(山田会長)

はい。8番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

観光商品造成戦略活動ということでございます。本年度は新たに「豪快磯焼き朝食」というものを立ち上げまして、試行錯誤しながら定着するよう頑張っていきたいと思っております。以上です。

(山田会長)

はい。9番をお願いします。

(燕趙園 山口園長)

燕趙園遊覧事業でございます。引き続きまして遊覧船を実施したいと思っております。平成24年度が186人という利用者でしたので、目標を500人ということで進めてまいりたいと考えております。以上です。

(山田会長)

はい。10番をお願いします。

(燕趙園 山口園長)

引き続き道の駅燕趙園の利用促進に努めるということで、先ほど申し上げましたが、情報発信機能、休憩機能、地域の連携機能というこの三つを念頭に置きながら、利用促進に努めていきたいということでございます。以上です。

(山田会長)

はい。11番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

ホワイトライアスロン in 湯梨浜でございます。これはすでに実施しておりますが、本年度も引き続き開催させていただきまして、100%達成したという形となっております。内容は進捗状況に書いてあるとおりでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。12番をお願いします。

(中本企画課長)

湯梨浜夏まつりでございます。本年度も引き続き実施させていただきます。日程が決まっております。綱引き大会を7月20日、水郷祭を7月21日、とまり夏まつりを7月27日に開催するように、現在実行委員会等で進めているところでございます。目標といたしましては昨年度3,000件のアクセスですけれども、もう少しアップして3,200件以上でやってみようと思っているところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。13番をお願いします。

(中本企画課長)

中華コスプレ・プロジェクトでございます。これも引き続き実施させていただいていると

ころでございます。5月に日本大会、11月にアジア大会ということでございます。5月18日、19日に開催されました参加人数は185名でございました。前年度から9名ほど減っておりますけれども、イベント等を工夫しながら次のアジア大会を開催するというのを聞いているところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。14番をお願いします。

(中本企画課長)

東郷湖ドラゴンカヌー大会も昨年度に引き続き開催するというところでございます。第13回ドラゴンカヌー大会、8月25日を開催予定としております。7月から受け付けを開始するというところでございます。目標といたしましては100チームということで、県内外のチームを幅広く募るということで、設定しているところでございます。

(山田会長)

15番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

水源域森林育成作業ということで、本年度も引き続き行いたいと思います。昨年度実施できなかった間伐につきましても、現在5haを実施中ですが、目標として20ha以上を実施し、竹林の整備も1.5ha以上を実施していきたいと思います。以上でございます。

(山田会長)

16番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

エコファーマーの推進についてということで、これも引き続き行いたいと思います。水稲・大豆において減農薬、減化学肥料に取り組むことによりまして、果実分野では特産二十世紀梨、並びに新甘泉等の新品種梨のグレードアップを目指すとともに、池の水質保全に努めてまいりたいと思います。目標といたしましては、果樹農家のエコファーマー認証制度の策定を進めてまいりたいと思います。以上でございます。

(山田会長)

17番をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

シジミの生息環境改善対策でございます。これも引き続き実施したいと思います。漁協さんのご協力によりまして、海砂2,000m³を水深2m付近に泥分50%以上のシジミの生息密度が高い区域に散布するというところでございます。例年10月に実施しておりますが、6月から7月までが適期だということでございますので、このころを目標に実施していただきたいなと思います。平成24年度は産卵がうまくいかなかったようですが、平成25年度は産卵場として比較的適している橋津川の環境改善を緊急対策として実施していただく予定です。以上でございます。

(山田会長)

18番をお願いします。

(岸田建設水道課長)

東郷池周辺地域の浸水対策ということで、これは新規事業でございます。東郷池（松崎～引地地区）については、堤防嵩上げ約2.3kmを計画しております。東郷池周辺道路の嵩上げを県道東郷羽合線（南谷）、県道東郷湖線（上浅津、長和田）、併せて県道長和田羽合線（門田）ということで計画されております。現在は河川整備計画策定ということで、協議を進めているところでございます。9月から10月にかけては、測量設計に着手しまして、1月くらいから一部工事に着手したいということでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。19番をお願いします。

(岸田建設水道課長)

東郷湖周道路整備事業ということで、平成24年度に実施設計を完了しております。本年度は用地測量を行いまして、用地買収・一部本工事に着手するというところでございます。以上でございます。

(山田会長)

はい。20番をお願いします。

(西原生涯学習・人権推進課長)

東郷荘絵図活用導入事業でございます。引き続き継続して実施してまいりたいと思います。特に実施計画に挙げておりますが、文化財解説ボランティアガイドの育成と、リストまで作成したいという気持ちで取り組みたいと思います。それから東郷池周辺の遺跡や史跡等の情報発信にも努めてまいりたいと、また案内看板等の見直し、あるいは修繕にも検討してまいりたいと思います。以上です。

(山田会長)

21番をお願いします。

(中本企画課長)

ゆりはま塾でございます。引き続き事業を継続してまいりたいと思っております。学習会等を教育委員会と連携して実施していきたいと思っております。進捗状況といたしましては、5月17日に第10回学習会を開催したところでございます。目標は、事業の進捗状況を随時ホームページ等で公開するというのもでございます。以上でございます。

(山田会長)

22番をお願いします。

(中本企画課長)

東郷湖・未来創造会議（天女のふる里づくり事業）でございます。平成25年度の計画でございますが、なかなか決まりませんでしたけれども、キャラクターの愛称決定についてですが、特許庁から許可が出まして、皆さんがご存知でしょうけれども「ゆりりん」と決まったところでございます。現在、いろいろなイベント等に出て行きまして、PR活動

を行っているところでございます。天女キャラクターのグッズ、リーフレットの作成を計画しております。幟旗、ピンバッジ、公用車にゆりりんのシールを貼るということも計画しておるところでございます。それと案内看板の設置を計画しております。また、これは未来創造会議の中での協議していただきながら進めていきたいと考えております。それと総合ガイドブックの作成ということで、昨年度は商工会に作っていただきましたけれども、もう少し総合的なウオーキングのガイドブックを作成していきたいと考えておるところでございます。緑化フェアが9月21日から開催されます。これに合わせて燕趙園で現在、NHKとの協議が完了しておりますけれども、「趣味の園芸」を誘致させていただいて、9月21日に収録ということで進めさせていただいております。そのほかNPO未来さんと協力しながらではございますが、ノルディックウオークのポール30セットや貸自転車24台を購入して整備していくよう進めているところでございます。現在、南谷に足湯がないということでしたので、足湯を設置する方向で協議させていただいているところでございます。引き続き、商工会はげんきウオーキングプロジェクトを実施されているということで、新しい観光商品等の開発も行われているということで進められています。以上でございます。

(山田会長)

23番をお願いします。

(蔵本健康推進課長)

ウオーキングプロジェクトでございます。平成25年度も公認指導員10名を養成するようにしております、すでに10名の応募をいただいているところでございます。教室は4月から実施しております、実施スケジュールはご覧のとおりです。東郷湖周のコースがこのたび全日本ノルディックウオーク連盟の公認コース第1号に認定されたということがございますので、これらのPRと併せましてさらに普及啓発に取り組んでいきたいと思っております。以上です。

(山田会長)

23-1をお願いします。

(中本企画長)

ウオーキングリゾートプロジェクトでございます。現在の進捗でございますが、5月12日東郷池春の健康散策ウオーキング参加者383名、6月15日～16日SUN-IN未来ウオーク参加者2,653名の参加でございました。未来ウオークにつきましては、初日雨ということがございましたけれども、皆さん元気に歩かれたのではないかなと思っております。その他計画的なものを挙げております。先ほど追加資料を配らせていただきました。健康推進課長が説明しましたけれども、東郷湖周が全日本ノルディックウオーク連盟公認コース第1号ということで認定されました。このように認定証をいただきまして、今後コースをPRしていきたいと思っているところでございます。以上でございます。

(山田会長)

最後になりますが25番をお願いします。

(中本企画長)

東郷湖活性化プロジェクト推進会議でございますが、年3回を計画しているところでございます。本日が第1回の推進会議でございました。以上でございます。

(3) 数値目標の達成状況について

(山田会長)

そうですね。数値目標の達成状況も済ましてから意見交換したいと思いますので、順次説明をお願いします。まず環境分野。

(前田町民課長)

環境分野といたしましては、数値目標がCOD4.5mg/lでございます。平成24年度は6.1mg/lということで、近年に比して高くなっている状況でございます。要因についてはいろいろと見解はあろうかとは思いますが、一つお聞きしているのが平成24年度においては、非常に高温で、雨が少なかったと。そういったことで東郷池の水の対流が生まれなかった、またその関係で塩分濃度も非常に高かったということで、池の貧酸素化が進んだのではないかと。その他にもいろいろな要因はあろうかとは思いますが、平成24年度については非常に悪化していたということでございます。なお、平成25年度の現在の数値でございますが、県水・大気環境課からいただいた資料では、5.9mg/lという状況でございます。依然として、水質があまり良くないという状況でございます。以上でございます。

(山田会長)

観光分野をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

観光人口(宿泊客)年間20万人を目標とさせていただいております。平成14年以降、宿泊客が年間20万人を割り込んでいるという現状がありますが、総合計画でも重点課題としておりますので、宿泊者数20万人を設定させていただいております。以上です。

(山田会長)

産業分野をお願いします。

(瀬戸産業振興課参事)

シジミ漁獲量年間200トンと設定させていただいております。平成24年度につきましては、水温の上昇等環境変化によりまして、激減しているような状況ではございますが、覆砂事業とかさまざまな事業を実施させていただきながら、目標達成に向けて取り組んでいきたいと思っております。以上でございます。

(山田会長)

はい。それでは資源のところを。

(中本企画課長)

資源分野ですけれども、各事業の目標値を90%以上にするということでございます。

各事業につきましては、先ほど各課長が説明いたしました目標に対する達成度というところで、評価していきたいと思っております。以上でございます。

(山田会長)

はい。皆さんのご質疑の前に、町長さんがおいでになりましたので、ごあいさつをお願いしたいと思います。

(宮脇町長)

遅れましてすみません。今日は実はエコノミストの東京支所長がお見えになっておまして。おととい電話をいただいて、てっきり毎日新聞が出している週刊誌『エコノミスト』の記者さんかと思っておりましたが、本物の英国のエコノミストで、イギリス人の女性ということで、話すのは通訳を介してですから、時間がかかって遅くなってしまいました。皆さんには大変お世話になっておまして、数字的に見ると目標達成には至っていないということもありますが、長い目で見て続けていくことが必要だと思っておりますし、引き続き皆さんのお力を借りて地域の活性化、町全体の活性化なり環境保全なりをやってまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。本日はありがとうございます。

(4) 意見交換

(山田会長)

一通りご説明いただきましたので、ご質問でもご意見でも結構ですので、気楽に意見の交換をしていただければと思います。何なりとお願いいたします。

(長谷岡委員)

説明はあったのかもしれませんが、ゴミの回収の平成24年度実績のところですけども、NO. 4です。平成24年度の目標は19.6 m³ですが、実績は増えているのに達成度は75%というのはどういう意味ですか。

(瀬戸産業振興課参事)

平成24年度目標は19.6 m³ということで、それに対しまして24.5 m³という実績でした。数量からいたしますと、25%増えているということでございまして、量を少なくするというのが目標でございまして。

(会長)

少ないゴミが良いということですね。

(長谷岡委員)

もう少しいいですか。トライアスロンなんですけれども、先ほどCODの値が悪いというのもあって、実際に水の中で泳がれる参加者の方がですね、どういう風に思われたのか。トライアスロンに限らずいっぱいイベントがあるのでですけども、参加した人たちの満足度と言いますか、参加して非常によかったとか、もうひとつだったとか、この部分はよかったけどこの部分は悪かったかなといったような、全体の評価のようなことはされているのかなというところを教えていただければと思います。

(瀬戸産業振興課参事)

東郷池の水質につきましては、全国各地ほかにも大会に出られてる方の声をお聞きしますと、東郷池はきれいな方だということで評価をいただいております。ただし、第1回の大会の時に、水質検査をされたみたいですが、水泳等には適さない水質だということでございましたが、それでもいいですよということで本大会は実施されていると聞いております。

(尾崎委員)

参加した人からは臭いという意見は聞きました。

(宮脇町長)

それは今年ですか。

(尾崎委員)

いや、だいたい。去年は天気良すぎて、特に池から上がると乾いて臭いという風には聞きました。例えばバイクに行く前にシャワーの中を通れるとか、大会実行委員の方たちに協力していただけると、バイクとランが快適にできるのではないかと思います。

(瀬戸産業振興課参事)

はい。その点につきましては、実行委員会等で検討させていただきたいと思います。

(山田会長)

ほかにいかがでしょうか。

(尾崎委員)

ドラゴンカヌーについて、去年8月26日に開催してほかの大会と重複しているという風に結果が出ていますが、今年も同じように8月25日となっていますが、よその大会との重複などは調べられているのでしょうか。

(中本企画課長)

その辺まで詳しくは調べていません。

(尾崎委員)

反省点でよその大会と重なって日程がうまく調整できなかったということでしたら、調べていただきたいとは思いますが。

(中本企画課長)

確認等をしながら進めてまいりたいと思います。

(会長)

ほかにいかがでしょうか。

(中山委員)

全体的な話ですが、平成24年度実績報告と平成25年度事業計画があるのですが、つくりがよくわからないところがありまして、平成24年度の事業をやって課題が出てきて、その課題をやっつけて平成25年度の事業計画に反映させていって、だんだん毎年改善していく進化していくということになるかと思うのですが。例えばエコファーマーとか、平成24年度と平成25年度の違いがよくわからないところがありまして。

(瀬戸産業振興課参事)

エコファーマーにつきましては難しい問題でありまして、有機栽培とか無農薬栽培とか差別化を図ったとしても有利販売できるのかという問題もございまして、今のところ実態としては、農協さんとしましては、差別化をしていないというところがありまして、せっかくやっても評価されないというなかなか難しい部分があるというように聞いております。ただし、そうは言っても、農家の皆さんに引き続きご理解をいただきながら、環境にやさしいやり方で実施していただきたいということで協力させていただこうと思っております。以上です。

(山田会長)

今所長さんがおっしゃったのは、全体のことなので、前年度課題だったところをどうクリアして新年度がプラスになるかという、その筆致がいるのではないかというご指摘だと思いますが。

(仙賀副町長)

言われたとおりで、全体の数値目標を持ちながらその数値に近づくように毎年やっているわけですが、前年度達成できなかった分、例えば5年計画の中で本年度はここまでやっただけ、少なくとも昨年度以上の数値をあげていこうという目標設定になるようにしています。その中で何が原因でどういう形にもっていくのかということは、当然それぞれの年度の中で目標設定するに当たっては、考えて作業していくことだと思っています。そのために各年度において目標設定していくわけですが、なかなか達成するまでに至らないものもございまして。少なくとも昨年度以上のものに向かっていくという目標設定を、平成25年度において各担当課が行っているところでございまして。先ほどエコファーマーの件もございましたが、今までエコファーマーは各農家戸数に基づいて、農家戸数を増やしていくという形の中でやっていたわけですが、

(中田委員)

今エコファーマーは5年経過いたしまして、新しい宿題をクリアしていかないと、次なる5年間の認定を受けられないということがあります。今エコファーマー米で販売しているわけですが、実際のところ30kgで30円～40円の値段がつく程度のこととございまして、あまり大きな声でエコファーマー米を販売しようということになっていないのが実態です。国からの直接支払交付金等があるのですが、そちらの方に少しずつでも入っていく方向にもっていくということで、舎人地区あたりで環境保全型の農業支援の関係でエコファーマーの推進に取り組んでいるところでございまして。これから先も少しずつ新しいエコファーマーを増やしていきたいと考えておるところでございまして。

(山田会長)

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではその中で湯梨浜町天女キャラクター「ゆりりん」の紹介をお願いします。

5. その他

(中本企画課長)

先ほども言いましたけれども、湯梨浜町天女キャラクターの着ぐるみということで、ほかのイベントなどでご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、本日皆さんにご紹介させていただきたいと思います。

(※湯梨浜町天女キャラクター「ゆりりん」着ぐるみ登場)

(中本企画課長)

今後、皆さんの団体等でも使われるということであれば、どんどん貸し出ししていこうと思っていますので、よろしくをお願いします。

(山田会長)

今町長さんからお聞きしたのですけれども、中学生がこういう審議の状況を見たいというので11時ごろ来られるというので、ちょっと議論を活発にしてください。

(宮脇町長)

連絡がありまして、中止となったようです。すみません。「趣味の園芸」のことを報告してください。

(中本企画課長)

9月21日に緑化フェアに合わせてNHK「趣味の園芸」の収録が行われるということとなっております。町民の方にも整理券などをお出しするというようなことも考えております。1部で収録、2部でトークショー、出演者は現在選定されている状況でございます。皆さんに参加していただければと思いますのでよろしくをお願いします。

(山田会長)

遠藤委員さん、ノルディックウオークで何かよろしいですか。

(遠藤委員)

先ほどご紹介されましたが、全日本ノルディックウオーク連盟に認定していただき、7月28日に記念大会を予定しております。開催場所についてはゆアシス東郷龍鳳閣あたりで出発したらどうかと思っていますけれども。このノルディックウオークは、連盟の方が来られた時に詳しく説明があったのですが、もともとヨーロッパで始まったスポーツ系のノルディックウオークだったらしいのですが、なかなかアメリカとかアジアで浸透しなかったのですけれども、日本に来てメディカル的なウオーキング、健康維持のためのノルディックウオークの研究がなされて、一気にアジアなどで広がった状況のようです。ダイエットなど健康維持には非常に効果があるといわれていますので、ぜひ町民の方もやっていただければと思っています。

(山田会長)

はい。この際、皆さん何かいかがでしょうか。よろしいですか。今後の日程を簡単に、次はいつごろかということをお教えてください。

(中本企画課長)

開催予定は26ページに掲載しております。第2回を10月下旬と第3回を3月中旬に計画しております。

(山田会長)

10月は中間報告というような形になるのですね。またご希望があればこんなことをやったらどうだというようなご意見も言っていただければ、事業に反映できるのではないかと思います。よろしゅうございますか。じゃあ、今日はこれで終わります。どうもありがとうございました。

6. 閉 会